



令和6年度小林市立三松小学校
校長室だより [R7.1.30(木)]

きらにこぐん

校長 柏木 賢

2学期後半、がんばっています！

1月6日(月)から新しい年の学びが始まって早3週間が過ぎました。集会の校長の話の中で、2学期後半は6年生が53日、1～5年生が54日しかなく、**1月(いく)、2月(にげる)、3月(さる)**と表現されるように、あっという間に月日が流れていくことから、**1日1日を大切に過ごしていこう！**また、1月から3月までの3か月間は、次の学年への橋渡しの時期でもあるため、**しっかりとまとめの時期の学習に取り組んでいこう！**と話したところです。今年巳年です！巳年は、「これまで努力してきたことが実を結びはじめる年」また、蛇は脱皮をすることから、「新たな挑戦や変化に前向きになる年」とのいわれがあります。今年、三松っかが大きく飛躍する1年になるよう、みんなで頑張っていきたいと思います。

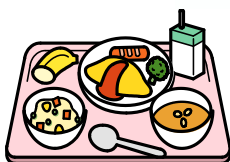
2学期の合言葉「流石、三松小！」を継続しつつ、有終の美が飾れる日々にしていきたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様、ご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

1月の学校の様子

<始まりました！給食当番！>

1月6日(月)から1年生が給食当番をしています。これまでは高学年児童がすべてやってくれていましたが、あと少しで2年生になり、年度当初から自分たちだけで給食当番をすることから、このタイミングでの実施になります。3クラスとも色が揃ったカラフルなバンダナを身にまとい、先生や高学年児童のサポートを受けながらも自分たちで頑張る姿が見られています！

昨年までは年長さんとして、園をひっぱっていた子どもたち！やればできますね！みんなすご〜くはり切って毎日がんばっています。



<楽しく、ためになる手話学習>

1月10日(金)、西諸県地区手話派遣協会の方々にお越しいただき、5年生が手話の学習をしました。

耳の不自由な方々の生活の実態(どんなことに困っているか等)や耳の不自由な方々のためのバリアフリー(設備等)について説明をしていただき、手話をつかった歌の表現や、いろいろなものの伝え方、挨拶の仕方など、教えていきました。

これからも福祉の大切さを深く学び、そして理解し、困ったときにお互いに助け合える人に育ってほしいと思います。



<ダメ絶対ダメ薬物乱用防止教室>

1月14日(火)、第6学年で「薬物乱用防止教室」がありました。講師として、都城警察署少年サポートセンター少年補導員の方々に来ていただきました。

薬物の種類やきまり・用法を守らず服用することで起こる体への影響、違法薬物の所持や使用で検挙される子どもの数の増加など、子どもたちの身近な問題として危険が迫っていることをプレゼン資料をもとにお話いただきました。

インターネットによる間違った情報をうのみにしたり、親しい先輩からの誘いで手を出したりする等して、一度でも使用したら簡単にはやめられなくなる、一度やめてもフラッシュバックを起こして、また、手を出してしまうことなど、薬物を乱用する恐ろしさを学びました。今回の学びを活かして生活してほしいです。





＜園小交流学習＞

1月17日（金）に園小連携事業として、「認定こども園みまつ」の年長児の子どもたち20名と本校1年児童とで、交流授業を行いました。1年生は昔の遊び（けんだま、かるた、羽子板、だるま落とし、竹トンボ、こまなど）の遊び方やルールをグループに分かれて調べてきたことをもとに、年長児さんに自分たちの担当の遊びをさせてあげました。学校で一番下の学年の1年生が年長児さんに対して、遊びのお世話をする姿に成長を感じました。みんな本当にお兄さん、お姉さんになりました～！頼もしかったです！園児と1年生が交流する姿はとっても微笑ましかったです。

園児も1年生もみんなニコニコ笑顔の交流になりました。



＜赤い羽根共同募金贈呈式＞

1月20日（月）本校で年末に行った赤い羽根共同募金34869円を、運営委員会児童が小林市社会福祉協議会の方に手渡しました。社会福祉協議会の方から、「共同募金は戦後、助け合い運動の一環として始まり、今まで継続されていること、集められた募金は困っている方々のために使われるとともに、新1年生に紅白帽子の贈呈などもしている」とのお話がありました。みなさんの善意（優しい気持ち）がきっと、世の中の苦しい方々に届けられることでしょう！ご協力に感謝いたします。



＜高齢者疑似体験学習＞

1月21日（火）と22日（水）に3年生児童を対象に総合的な学習の時間において「高齢者疑似体験」を行いました。講師として小林市社会福祉協議会の皆さんとAID（エイド）と呼ばれる福祉教育協力員の皆さんにおこしいただきました。高齢者疑似体験学習ではまず、児童に高齢者の身体になってもらうために、「①膝と腕に動きが制限されるサポーター②手首と足首におもり③腰が曲がるように首と膝を長いひもで固定④両手に軍手⑤耳にイヤーマフ（聞こえが悪くなる）⑥視野が狭くなるゴーグルを身に付けました。その状態で6つのブース（①色や大きさの違う数や記号の読み取り②財布からの指定されたお金の取り出し③用紙の黄色い枠内に記名④箸を使ってビー玉を紙皿から紙皿へ移動⑤高さの違う2台の平均台の歩行⑥階段を使ったステージへの上り下り）を回りました。

体の自由が利かなくなる装具を身に付けることで、高齢者や体の不自由な方の気持ちに深く気付くとともに、周りの声かけや支えの大切さに気付くことができたようです。

これからこの学びを心に入れて、困っている人に対して思いやりの気持ちをもって進んで助け支えられる人になってほしいと思います。



＜校庭の木の伐採＞

南西フェンス手前のツツジと正門近くの桜の木の伐採作業が行われました。T字路がとても見通しがよくなり、校舎にもたれかかっていた木も、倒壊する危険性がなくなりました。あわせて、キオビエダシャクの棲家になっているイヌマキの木も剪定していただき、校名の看板がきれいに見えるようになりました。情報提供ありがとうございました！



2月の主な行事



- 5日（水）全校朝会
- 12日（水）読み聞かせグループによるお話会（6年）
- 13日（木）参観日（1・3・5年）
- 18日（火）参観日（2・4・6年）
- 28日（金）お別れ遠足